

2022 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじんみらいへ	
団体名	特定非営利活動法人未来へ	
代表者名	藤本 優	
連絡先	住所	岡山県津山市中之町 6 1
	TEL	0868-32-8025
	E-mail	info@npomirai.org
	URL	http://npomirai.org/
設立年（西暦）	2014 年	
助成活動名	公的支援の対象とならない児童、若者、その家族への支援	
助成額	500000 円	
活動内容	目的	虐待を受けたり、家庭からの支援を受けられなかったり様々な理由から就労しなければ生きていけない児童（15 歳～18 歳）がいます。他人とコミュニケーションをとることが苦手な若者、貧困から子育てに悩む家庭もあります。現在 NPO 法人未来への事業の主体は岡山県子ども家庭課をはじめ、公からの受託事業です。その為、支援の対象となる児童や若者は社会的養護の出身者、障害者、受給者証の取得できる方など制限を設けられています。コロナ感染症が広がる中、津山市、真庭市、美作市、での相談会を行っていますが最近では支援の対象とならない方からの、また予期しなかった事案への対応（関西圏の児童自立援助ホームでの受け入れが満床状態で兵庫県などからの支援の要請）もあります。このような状況下（コロナ禍）であればこそ、支援対象者の枠を広げ、受給者証がない方、児童の年齢（18 歳未満）で就労しなくてはならない方、貧困などから子育てに悩む家庭など公の支援の対象とならない方など、様々な悩みを抱え苦しんでいる方に目を向ける必要があります。そして、将来新しい支援の枠組みを確立し、公に認めていただくことを目指します。
	内容	<p>1, 相談の受付 県北 10 市町村窓口への事業告知のためのチラシ配布 毎月の相談希望の受付とスケジュール表の配布</p> <p>2, 市町村等での相談会の実施 <input type="checkbox"/> 本人、家族、担当保健師、相談支援員、ケースワーカーなどから基本情報の収集 <input type="checkbox"/> 本人、家族と一緒に目標を設定する。 生活、学習、就労、メンタルの 4 項目に沿ってそれぞれの専門の支援員と一緒にロードマップを作成する。 <input type="checkbox"/> 定期的に支援の状況を確認する <input type="checkbox"/> 必要に応じて他機関へリファーする。 <input type="checkbox"/> 6 ヶ月、12 ヶ月での事業報告会の実施 （市町村を中心に事業の必要性をアピールする）</p> <p>3, シンポジウムの開催</p>
	成果	相談会に定期的に来ている若者に若干の変化がみられた。引きこもり状態から外に出られるようになったり、就労に向けて準備を開始したりしています。シンポジウムでは、参加者から「知識が共有できて良かった」「体制づくりの参考になった」「講師の先生の方の取り組みがもっと聞きたかった」などの感想を頂きました。また第二回のシンポジウム開催の土台作りにもなり今後に繋がる会が開催できました。

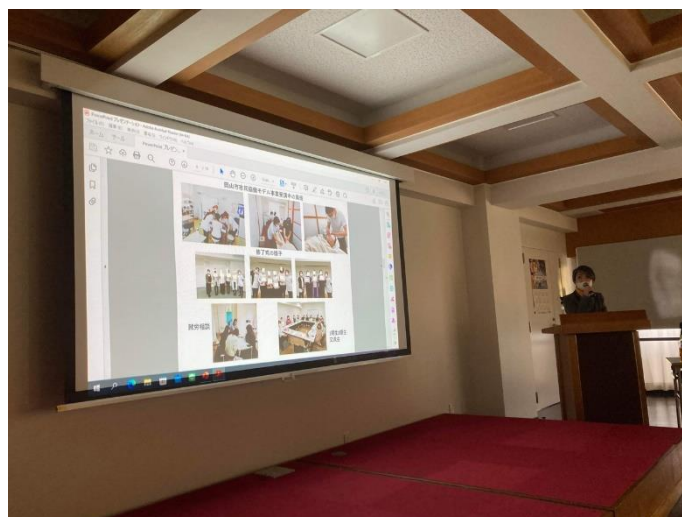
今後の課題と対応策

困っている若者の新規相談があまり無いので、積極的に新規の相談を受け入れるためのアプローチを行っていく必要があると感じています。
また、シンポジウムについてはもう少し地域のニーズを把握したうえで進めることができれば良かったと思います。
対応策としては、他機関との連携を強化し埋もれているニーズを探し出し、支援の計画に落とし込んでいきます。



(相談会の様子)

写真の提出



(シンポジウムの様子)